

◆石垣島研修

7 月 20～22 日に石垣島研修を行いました。天文台施設や、ラムサール条約湿地に指定されているアンパル干潟、沖縄県最高峰 (526 m) の於茂登岳等で実習を行い、本島とはひと味違う八重山の自然に触れてきました。

1 日目 : サンゴ礁研究・モニタリングセンター、星空観察

サンゴなど、特有な生態系を身を守るように正しい知識から守れるように範囲で日頃からつけ、できる範囲で日頃から保全に取り組みたいと思うべきか、自分たちも考える必要がある。



八重山の星空観察



▲ 国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター

VERA 観測所では、20mもある電波望遠鏡を間近で見ることができ、その迫りに圧倒されました。すべての星が光っているものもあすべく、電波だけを発しているものもあってと知り驚きました。望遠鏡が動く様子を見れて良かったです。



▲ VERA 石垣島観測局見学



2 日目 : 名蔵湾アンパルの自然観察



カヌー体験



干潟調査



スターリング衛星 (上写真赤枠) も見る事ができたよ

アンパルでは一番身近で自然を観察できたし、「五感で感じる」精神が楽しかった。実際に手で触れて味覚で味わった経験がとても貴重だった。

動植物の形・環境・特徴にはどんなものにも意味があるを前提とし、それはなぜなのかを考えることが一番大切であると教えてもらいました

3 日目 :

於茂登岳の自然観察

於茂登岳では、ガイドがいないと行けない戦争中の軍の跡地や水道管の跡、珍しい菌類などが見れ、普段できない体験ができました。アイフィンガーカエルに感動しました。

同じ沖縄県だけれど植物や動物、虫の種類が全く違うし、地形も異なっていたので石垣島の生態系や地形だけでなく昔の石垣島の人々の生活など、人にフォーカスした話も聞いてみたい。

SDGs を呼びかけるだけでなく、誰かを動かすためには現状を伝え、どうしてやるのかを伝えるべきだと思います。今回学んだことを忘れず、友達や家族に伝えこれからの行動につなげたい。

